

地域経済動向調査

出羽商工会では小規模事業者の事業計画策定支援に力を入れており、事業者の経営分析はもちろんのこと、地域の経済動向を分析することで需要を見据えた計画的な経営の促進を図っています。

そこで、実際に事業者支援の現場で活用した分析結果をお知らせしますので、事業計画策定等にご活用願います。

なお、出羽商工会では事業計画策定の相談は随時受け付けております。各種補助金制度に限らず、創業や販売促進、事業承継等、課題に応じた事業計画策定を支援しますので、お気軽にお問合せください。

今回のテーマは「支部単位の人口」

本資料は総務省統計局が令和2年に実施した「国勢調査」の調査結果をもとに、「人口」について分析したものです。

令和2年に実施した「国勢調査」については令和4年に調査結果が公表されていますが、行政単位だけでなく支部単位の調査結果も知りたいという声が散見されていました。そこで、本資料では支部単位の人口に焦点をあてて分析しています。本会の7支部を調査分析の対象とし、現在の鶴岡市が発足した平成17年から令和2年までの合計4回の国勢調査に基づいて分析しています。

なお、各支部については原則として旧町村の数値を使用していますが、大山支部については大山地区と西郷地区の数値を合算して算出していることをご承知おきください。

本会区域は20年間で18.9%の人口減少

最初に平成17年以降の合計4回の国勢調査の調査結果から各支部等の人口を抜き出したがの【図表1】になります。どの支部も人口減少が進んでおり、出羽商工会区域の人口はこの20年間で約12,000人減少し、20年間の増減率は▲18.9%になります。

なお、同じ期間の鶴岡商工会議所区域の人口は約8,500人減少し、増減率は▲9.8%です。鶴岡市・三川町の中でも本会区域の人口減少が際立っていることがわかります。

【図表1】各支部等の人口の推移

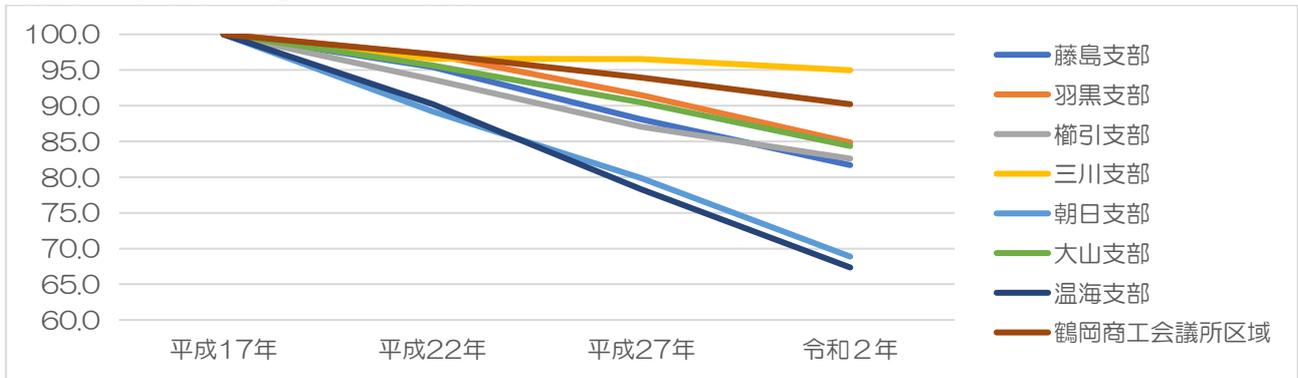
	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
出羽商工会区域	63,109	59,522	55,375	51,206
藤島支部	11,595	11,065	10,216	9,472
羽黒支部	9,323	9,059	8,529	7,912
櫛引支部	8,320	7,794	7,244	6,872
三川支部	8,003	7,731	7,728	7,601
朝日支部	5,378	4,798	4,295	3,704
大山支部	10,849	10,377	9,813	9,152
温海支部	9,641	8,698	7,550	6,493
鶴岡商工会議所区域	87,278	84,832	82,005	78,742

海岸部・山間部ほど急激な人口減少が進行

続いて、各支部の人口減少の状況をわかりやすくするために、平成17年の人口を100とした場合の人口の推移をグラフ化したのが【図表2】になります。

三川支部が横這い基調で令和2年でも95以上を維持しているのに対し、その他の支部は85以下に減少。中でも朝日支部と温海支部は70を切るほど減少しています。

【図表2】各支部等の人口の推移



本会区域の高齢化率は39.1%

最後に、令和2年の各支部等の年齢3区分別人口割合を図表化したのが【図表3】になります。

本会区域は総人口に占める老年人口の割合が39.1%と高い一方で、生産年齢人口の割合が50.0%と低く、消費の低迷や人手不足の一因となっています。

また、年少人口については三川支部が13.1%と高い数値を示している一方で、朝日支部と温海支部においては10.0%を下回っており、今後ますます少子化が加速するものと予測されます。

【図表3】各支部等の年齢3区分別人口割合

	年少人口 (15歳未満)	生産年齢人口 (15~64歳)	老年人口 (65歳以上)
出羽商工会区域	10.8%	50.0%	39.1%
藤島支部	10.6%	51.1%	38.3%
羽黒支部	10.8%	50.8%	38.3%
榎引支部	11.7%	50.1%	38.2%
三川支部	13.1%	51.7%	35.0%
朝日支部	8.9%	46.9%	44.2%
大山支部	11.3%	51.6%	37.0%
温海支部	7.7%	45.2%	46.8%
鶴岡商工会議所区域	11.3%	55.1%	32.6%

事業計画の策定を支援します

以上が「支部単位の人口」をテーマとした地域経済動向調査になります。出羽商工会では、このような地域の経済動向の分析から経営分析、事業計画の策定といった一連の流れを支援していますので、関心のある方はお気軽にお問い合わせください。